

「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業」
中間評価に関する Q & A

【評価項目及び着眼点について】

〈問1〉『※』で示されている「積極的に評価する」とされている項目について、具体例を教えてください。

〈答〉 当初計画に位置づけていないものの、J-PEAKS の取組をもとに、以下で例示するような取組を実施している場合、J-PEAKS の取組との関係性をわかりやすく説明した上で、記載ください。

なお、令和8年度公募事業（先端研究基盤刷新事業（EPOCH）、産業・科学革新人材事業（INSIGHT）、未来を先導する世界トップレベル大学院教育拠点創出事業（FLAGs）等）について記載する場合は、「申請中」の段階であることを明記してください。

【「資金源の多様化」に関する例示】

●内閣府事業

- ・研究開発と Society5.0 との橋渡しプログラム（BRIDGE）
- ・戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）
- ・ムーンショット型研究開発制度
- ・経済安全保障重要技術育成プログラム（K Program）
- ・戦略的大学改革・イノベーション創出環境強化事業
- ・地方大学・地域産業創生交付金
- ・地域中核大学イノベーション創出環境強化事業 等

●経済産業省事業

- ・科学とビジネスの近接化時代の大規模産学連携拠点形成事業 等

●文部科学省事業

- ・未来を先導する世界トップレベル大学院教育拠点創出事業（FLAGs）
- ・研究開発マネジメント人材に関する体制整備事業
- ・グローバル卓越人材招へい研究大学強化事業（EXPERT-J） 等

【「他機関との連携」に関する例示】

- 連携大学・参画機関との間で、本事業の取組を通じて、申請当初に計画していた連携内容やその範囲について、当初の想定を上回る水準で連携が図られている場合
 - 連携大学・参画機関との連携をはじめ当初の計画に位置づけていた連携のほかにも、本事業の取組を通じて、新たな大学、研究機関等との連携が図られている場合
- ※「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業 中間評価要項」（令和7年 10 月 27 日地域中核・特色ある研究大学の振興に係る事業推進委員会決定）でも記載のとおり、他機関との連携による相乗効果の創出や、相互に資金的・人的コミットメントがある等、実質的な連携が図られているかについて、可能な限り具体的に記載ください。

【別紙 研究者及び研究支援人材の育成・採用・獲得について】

〈問2〉【別紙 研究者及び研究支援人材の育成・採用・獲得】において、令和 8 年 5 月 15 日付け事務連絡では、「雇用財源は、J-PEAKS 事業費に限りません。」との記載があります。強み・特色ある研究拠点だけではなく、全学をあげて J-PEAKS 事業に取り組んでいる本学の場合、この「研究者」「研究支援人材」の実績の数値は、雇用財源に関わらず、J-PEAKS 採択後に新たに着任した、全学部・全研究科の各年度の研究者及び研究支援人材の総数をそれぞれ記載するという認識でよいのか。

〈答〉 本事業は、公募採択時より全学への波及を前提とした経営改革事業であるため、最終的には全学が J-PEAKS へ関与している姿が理想となっております。一方で、今回の中間評価においては、事務連絡の別紙にお示ししたとおり、申請時の審査要領において、Ⅲ. 1.(4)「研究者及び研究支援人材の育成・採用・獲得が若手研究者及び研究支援人材の育成に向けた環境改善・向上の取組が適切なものとなっているか。」及び、Ⅲ. 2.2 ポツ「研究者・研究支援人材等の育成・採用・獲得戦略が、時間軸や人数等の定量的な内容を含んでおり、研究力の向上のための仕組みとして戦略的かつ有効な計画となっているか。」と定められていることを踏まえ、目標と実績値について確認を行うものです。

どの範囲について記載されるかは大学のご判断となります。J-PEAKS 事業への関与度合いについても濃淡があるかと思しますので、それらも踏まえてご記載ください。貴学の事業の実施状況が、10 年後の大学ビジョンや事業計画に照らし、着実に進捗しているかを確認するための一つのツールとして本様式を御作成いただくものですので、単純に J-PEAKS は全学をあげて取り組む事業だからという理由だけで全ての学部・研究科の研究者及び研究支援人材の数字を書けば良いというものではなく、なぜその数字にしたのか、J-PEAKS 事業としてどういった戦略を持っており、ここにカウントされる方々が J-PEAKS 事業にどのように関わり、事業にどう影響を与えているのかを説明できるという部分が非常に重要となります。

なお、全学の数字を記載いただいた場合、評価の過程で、その内訳(J-PEAKS 事業のコアと考えられる部分に関与する者の人数等)について追加確認を行う可能性があります。

〈問3〉【別紙 研究者及び研究支援人材の育成・採用・獲得】において、そもそも各年度の目標値を設定していない場合はどうすればよいのか。

〈答〉 今回の中間評価においては、令和 8 年 5 月 15 日付け事務連絡の別紙にお示ししたとおり、申請時の審査要領において、Ⅲ. 1.(4)「研究者及び研究支援人材の育成・採用・獲得が若手研究者及び研究支援人材の育成に向けた環境改善・向上の取組が適切なものとなっているか。」及び、Ⅲ. 2.2 ポツ「研究者・研究支援人材等の育成・採用・獲得戦略が、時間軸や人数等の定量的な内容を含んでおり、研究力の向上のための仕組みとして戦略的かつ有効な計画となっているか。」と定められていることを踏まえ、目標と実績値について確認を行うものです。

従って、計画で立てている目標値(アウトプット指標、アウトカム指標において目標値を設定している場合を含む)があれば、その内容を記載いただくことを想定しています。他方、計画で定量的な目標を掲げていない場合は目標値の各欄には「-」を記載してください。